

令和2年度庄原市教頭・事務長研修会

令和2年6月22日（月）15:00～16:35 庄原市ふれあいセンター コパリホール

庄原市教育行政施策の方針を踏まえ、今日的教育課題の解決に向けた方策や組織的な学校運営のための教頭・事務長の果たすべき役割について理解することを通して、自校の学校運営のより一層の充実と改善に資することを目的に研修会を行いました。

【講話】「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」

教育指導課 指導係長 横山 博之

■庄原市教育行政施策の方針，新型コロナウイルス感染症対策における国の方針等について，「見方・考え方」を授業改善のキーワードとした新学習指導要領の趣旨等について，Society5.0やG Suite for Educationの導入について等の講話を行った。



【参加者の感想等】

- ◆新型コロナウイルス感染症対策をしていく中で、「できないこと」ばかりに目を向けるのではなく、「できること」に目を向け、子供たちに確かな学力を育てていくことに取り組んでいきたい。
- ◆G Suite for Educationがどのようなものなのか、まずは自分でやってみたり、主任等に研究させたりしながら、授業の中で何ができるか研修したい。
- ◆オンライン研修のよさもあるが、実際に目の前で話を聞き、全体で共感しながら研修を進めていくよさを改めて感じた。

【講話】「サービス管理の徹底について」

教育指導課 学事係長 高淵 直哉

■不祥事防止について、特に、懲戒処分の指針に新たに追加された「パワーハラスメント」について、演習を交えながら講話を行った。



【参加者の感想等】

- ◆不祥事根絶のためには、教頭が普段から風通しのよい職場づくりに努めること、仕事を依頼する際の声の掛け方や配慮することなど参考になった。
- ◆パワハラについてのサービス研修を自校で実施する際、本研修で学んだ内容を参考にして実施するとともに、パワハラを生まない環境づくりにも教頭として努めたい。
- ◆注意と叱責は場面に応じて必要だが、感情的になるのではなく、人材育成という視点を必ずもって取り組んでいきたい。